

授業科目名	先端ICT演習Ⅲ			科目コード	MJIK 0026
学科・コース名	情報システム科 IT高度専門士コース			履修区分	必修
授業形態	演習	開講学年	4年次	学期	前期
担当教員	平川 貴之	実務経験	有	単位数	5 単位
授業の 目的・目標	3年次までに修得した技術を基盤として、チームによるプロダクト開発を実施する。前期では既存設計の見直しおよびMVPの完成を目指す。				
授業の概要	前期では既存設計の見直しおよび最小限の機能だけを持った、検証用の製品(MVP)の完成を目指す。技術の習得にとどまらず、社会的価値を有するプロダクト創出を通して、実践的高度ICT技術者としての総合力を養成する。				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1～6	【第1フェーズ】～【第4フェーズ】振り返り①(3年次演習)			授業の復習を行う	90分
7～12	【第1フェーズ】～【第4フェーズ】振り返り②(3年次演習)			授業の復習を行う	90分
13～18	【第1フェーズ】～【第4フェーズ】振り返り③(3年次演習)			授業の復習を行う	90分
19～24	《システム設計セオリーと実践方法》 システム設計の位置づけ			授業の復習を行う	150分
25～30	《システム設計セオリーと実践方法》 開発の全体像			授業の復習を行う	150分
31～36	《システム設計セオリーと実践方法》 要件定義・設計・開発とは			授業の復習を行う	150分
37～42	《システム設計セオリーと実践方法》 テスト・リリース・保守・運用			授業の復習を行う	150分
43～48	《システム設計セオリーと実践方法》 システム設計書の種類			授業の復習を行う	150分
49～54	《システム設計セオリーと実践方法》 システム設計の整理方法			授業の復習を行う	150分
55～60	《システム設計セオリーと実践方法》 全体設計			授業の復習を行う	150分
61～66	《システム設計セオリーと実践方法》 入出力設計			授業の復習を行う	150分
67～72	《システム設計セオリーと実践方法》 データベース設計			授業の復習を行う	150分
73～78	《システム設計セオリーと実践方法》 ロジック設計			授業の復習を行う	150分
79～84	《システム設計セオリーと実践方法》 ネットワーク設計			授業の復習を行う	150分
85～90	《システム設計セオリーと実践方法》 サーバ設計			授業の復習を行う	150分
91～96	《システム設計セオリーと実践方法》 設計書の活用方法			授業の復習を行う	150分
97～102	《システム設計セオリーと実践方法》 設計書の必要性(まとめ)①			授業の復習を行う	150分
103～108	《システム設計セオリーと実践方法》 設計書の必要性(まとめ)②			授業の復習を行う	150分
109～117	プロダクト完成に向けての心構え			授業の復習を行う	90分
118～123	【第5フェーズ】高度化・差別化を図る			授業の復習を行う	150分
124～126	性能改善①			授業の復習を行う	180分
127～129	性能改善②			授業の復習を行う	180分
130～133	性能改善③			授業の復習を行う	180分
134～136	セキュリティ強化①			授業の復習を行う	180分
137～139	セキュリティ強化②			授業の復習を行う	180分
140～141	ログ設計・監視設計①			授業の復習を行う	180分
142～143	ログ設計・監視設計②			授業の復習を行う	180分
144～145	UX改善			授業の復習を行う	180分
146～147	負荷試験			授業の復習を行う	150分
148～150	障害対応演習			授業の復習を行う	150分
評価方法	・プロジェクト取り組み状況(40%)、各種ドキュメント(30%)、成果物(30%)とする。				
教科書参考書	・システム設計のセオリーと実践方法がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)				